

釧路川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、釧路川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、釧路川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和35年3月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 河川における対策
対策内容 河道掘削、堤防整備

■ 流域における対策
・釧路湿原や屈斜路湖など、自然の遊水効果がある自然地の保全
・雨水排水路の整備
・雨水貯留施設の整備 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ ソフト施策
・地域住民を対象とした防災研修会や避難訓練の実施
・水防資機材の充実・維持
・ハザードマップの作成と周知
・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
・タイムラインの運用と精度向上
・幼少期からの防災教育の実施
・重要水防箇所の共同点検 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。